

商工研 提携セミナー

日本生産性本部 主催

コーチング実践研修

1日(7時間)

- “コーチングスキル＝部下の考えを引き出し行動へつなげる手法”の基本を理解することができます
- OJT の基本である「支援責任」と「育成責任」を認識し、部下育成意識をより高めることができます
- 傾聴や質問、強化法など、業務の様々な場面において部下の考えを引き出し動機づけ、次の行動へ

プログラム構成

目指したい姿



未来への
伴走者

コーチングの必要性を学ぶ

人が育つコミュニケーション法を身につける

OJTの中で活かすための要点を学ぶ

講師のコメント

星名 英樹



多様性尊重時代のマネジメントでは、部下一人ひとりに合った関わり方を通じて、個々の能力や意欲、持ち味を引き出していくことが求められます。コーチングは、そのための有効な手段であり、その成否が、チームのパフォーマンスや部下の成長にも影響をもたらします。本プログラムでは、コーチングを効果的に実践する上での基本的な考え方と具体的なスキルを、演習や実習を通じて習得していただきます。

受講者の声

- 部下の立場から見た上司の言動について考えさせられた。随時演習が挟まれており、効率よく、飽きずに学べた。
- 自らの行動を振り返るためのキーワードを多くいただいた。
- 人材育成の基本としての OJT は、それぞれの自己流ではなく、しっかりとした教育が必要だと認識できた。
- 具体的な行動が示されており、すぐに取り組めると思う。

開催日

(通い)

2026年

第85回 7月6日(月)

2027年

第87回 2月9日(火)

(オンライン)

2026年

第86回 10月6日(火)

※ 実施方法が変更になる場合がございます。

1日のスケジュール

9:30 開始

1. コーチングとは

- (1) 求められる背景と期待される効果
- (2) 指導・支援におけるコミュニケーション
～コーチングとティーチング～

2. コーチングを使う場面とは

- (1) 1on1ミーティング
- (2) 日常業務でのOJT

3. 職場のコミュニケーションの基本

- (1) コミュニケーションの原則
- (2) 基本的態度と留意点

4. 支援・育成につなげるコーチング・コミュニケーション

- (1) 質問 ～持ち味を引き出し、気づきを促し、行動につなげる～
- (2) 傾聴(受容、繰り返し、明確化)～部下に寄り添い、支援する～
- (3) 強化・承認 ～一歩踏み出す後押しをする～
- (4) 改善 ～正すべきことは正す～
- (5) GROWモデルの活用

5. 育成のための計画づくり

- (1) 指導計画作成の留意点
- (2) 部下の指導計画策定

17:30 終了

参加費
(税込)

商工研会員

39,600円

一般(参考)

44,000円

※ 昼食の用意はございません

定員

24名

講師

日本生産性本部

カウンセリング・マネジメントセンター 星名 英樹

会場

日本生産性本部セミナー室(東京・永田町) 他
オンライン(Zoom)

申込に関するお問い合わせ 商工中金経済研究所 (03) 3159-4974

セミナー内容に関すること 日本生産性本部 コンサルティング部 経営開発センター (03) 3511-4030